

2018年度 吃音専門士養成講座 (core講座)

2018年8月4日 (土) 10:00~12:30 (Basic), 13:30~17:30 (Advance)
公益財団法人 早稲田奉仕園セミナーハウス (中会議室 スコットホール)

吃音教育臨床講座 Basic

金沢大学人間社会研究域学校教育系
小林 宏明



石川言友会会員



大学教員 (金沢大学)

吃音・クラタリング 世界合同会議 in Japan 2018 演題募集開始! 締切 12/15

The 2018 Inaugural Joint World Congress of Stuttering and Cluttering

科学と吃音コミュニティ ことばがつなぐ一つの世界

期間 2018. 7. 13(金)・16(月)祝
ポストコンGRESSセミナー 17(火)

会場 広島国際会議場 広島市中区中島町1番5号

大会長 川合 紀宗 <http://jointworldcongress.org>
広島大学学術院 教授

基礎講演者
Adams, Charley 南カリフォルニア大学・国際クラタリング学会理事
Bradberry, Annie 国際吃音連盟理事
Cook, Susanne パーシニア州フェニックス教育委員会
森 浩一 国立障害者リハビリテーションセンター-病院、宇都

Myers, Florence アダルフランド大学
Trichon, Mitchell ラサール大学
Wampold, Bruce ウィスコンシン大学マディソン校
モダム精神障害学センター-研究員

- 国際流暢性学会
- 国際クラタリング学会
- 国際吃音連盟
- 日本吃音・流暢性障害学会
- 全国言友会連絡協議会

今日のお話の概要

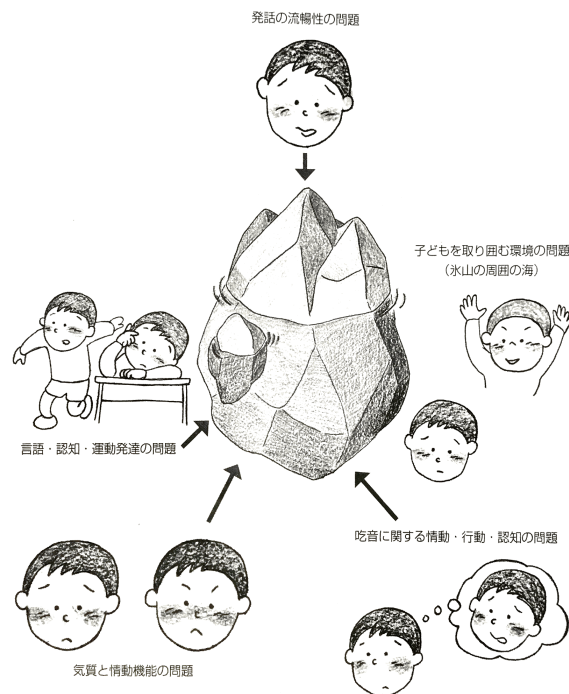
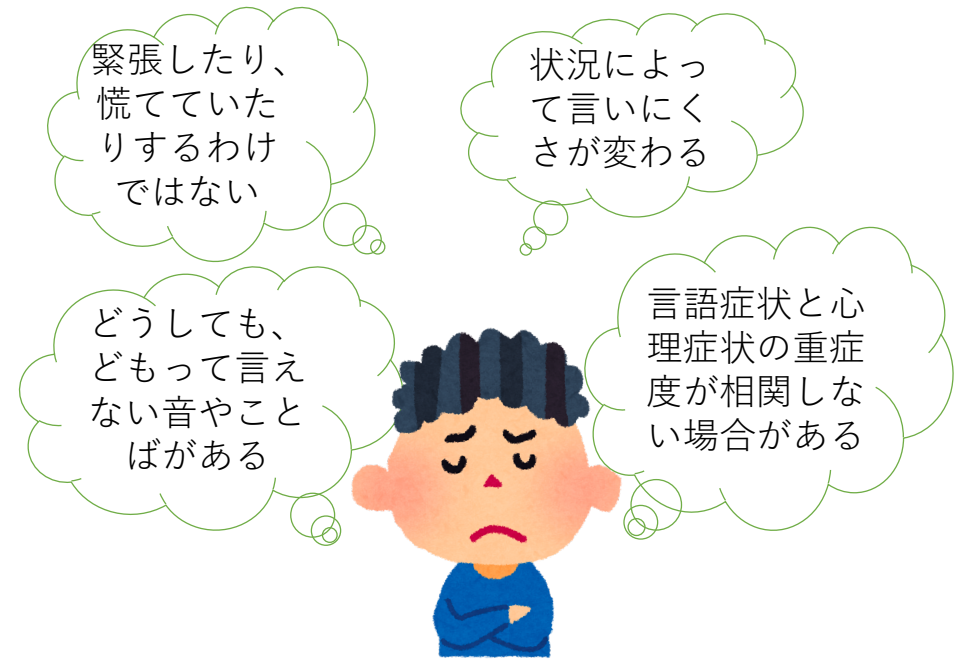
• Basic 10:00~12:30

- 吃音の問題の実態把握
- 吃音の原因論
- 吃音の「教育論」
- ICFに基づくアセスメント・プログラムによる指導・支援
- 客観テスト

• Advance 13:30~17:30

- 吃音の教育臨床で大切にしていること
- 学齢期吃音の事例報告
- ディスカッション
- レポート

吃音の問題の実態把握



小林, 2014, p.3

- 重症度
- 頻度
- 持続時間
- 緊張性



思うように
話せない不
全感や欲求
不満

苦手な音や
ことば、場面
の回避

「工夫」となる
場合もある

言語症状への
気づき

予期不安



自尊感情の
低下



とまどい
(どのように関われば
いい?)

スティグマ
(「いけていない」
イメージ)

誤解
(あわててる、緊張
している、頑張れば
できる)



吃音の原因論

多因子遺伝が推定

脳の機能的構造的
問題の関与が推定

- 左半球の活動低下
- 右半球の過活動
- 大脳辺縁系の過活動
- ...



2段階モデル (An Integration of Perspective on Stuttering)
(Guitar, 2014, p102, Fig. 6.5.)

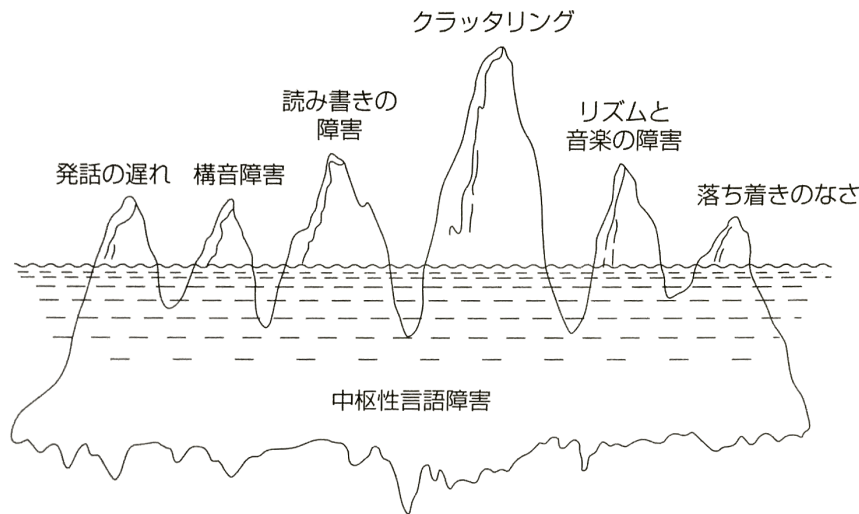
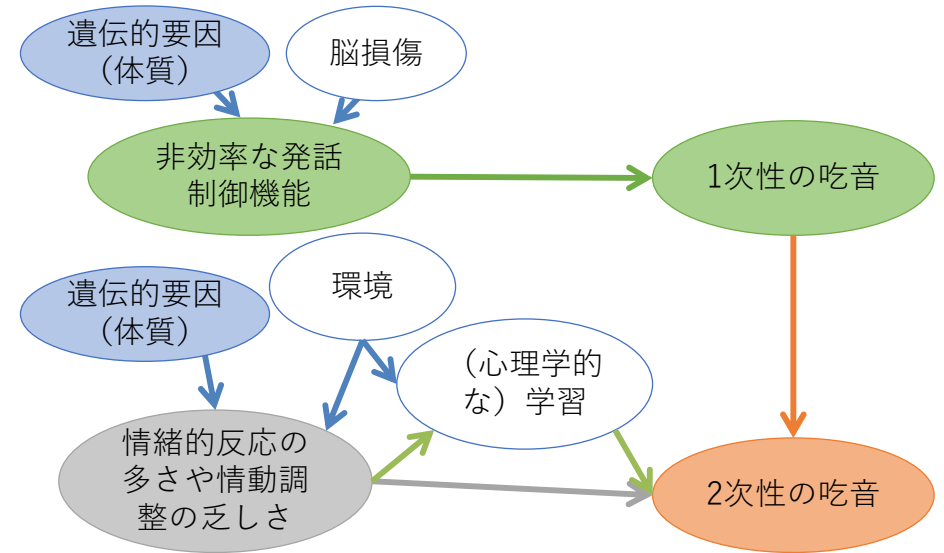


図 1-17 中枢性言語障害の概念 (Weiss, 1964)



もう 1 つの原因論

どうして、吃音の話し方は
問題とされるのか?

「教育」の意味（広辞苑）

- ① 教えること。望ましい知識・技能・規範などの学習を促進する意図的な働きかけの諸活動。
- ② ①を受けた実績

吃音の「教育論」

臨床実践の動向

吃音臨床の
パラダイム
シフト

吃音の言語症状の消失・軽減



吃音のために生じる困難の
解消・緩和

困難

- 活動の制限
- 参加の制約
- QOLの低下

感情・態度

- 意識、とらえ方
- 不安、回避
- 自己効力感

環境

- 吃音への理解
- 吃音への対応
- 偏見、からかい

ことばの教室の指導の変遷

障害、出来ないこと

以前 治療教育

指導法

児童・生徒



困り感

現在 自立活動

困り感

特別支援教育の
キーワード

自分理解

自分理解

- 障害理解教育
- キャリア教育
- 人権教育...

困り感

- 独特の感じ方、とらえ方
- マイノリティー
- 多様性への不寛容
- 誹謗、中傷...
- 不十分な教育環境

本人の問題よりも、周囲の問題であることが少なくない

自立活動とは

- 個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

自立活動とは

- 6つの領域
 - 健康の保持
 - 心理的な安定
 - 人間関係の形成
 - 環境の把握
 - 身体の動き
 - コミュニケーション



小林の現時点での吃音支援観

- 「吃音は悪いこと、いけないこと、だめなことではない」ので、吃音の話し方を変える（治す）必要はない
- ただし「どもってもいい」の大前提として、「吃音へのからかいや偏見がない」社会や学校を作らなくてはいけない!
- また、吃音のある人の中には、「どもってもいい」とは思っていない（吃音の話し方を変えたいと思っている）人がある。これらの人には、吃音の話し方が軽減・緩和される話し方の工夫や対処法を提案する必要がある



小林の現時点での吃音観

- 吃音は悪いこと、いけないこと、だめなことではない
- 吃音のからかいや偏見は悪いこと、いけなこと、だめなことである

様々な臨床技法の開発



環境調整法

- 発話環境の調整
- 育児環境全般の調整

リックカム・プログラム

- 流暢な発話を強化する行動療法
- 言語的随伴刺激



流暢性形成法

- 吃音になりにくい発話の習得を目指す行動療法

DCモデル

- 要求と能力の分離を少なくする
- 間接的・直接的

様々な臨床技法の開発



吃音変容法

- 吃音への直面
- 吃音の不安の軽減・緩和

統合的アプローチ

- 流暢性形成法と吃音変容法を組み合わせる



認知行動療法

- 吃音への認知の変容を狙う
- 不安の緩和軽減

年表方式のメンタルリハースル法

- 吃音の失敗体験の記憶のイメージを変化させる

その他、DAF、FAF、メトロノーム、VR、マインドフルネス、等々

多様な支援の取組



吃音理解教育

- 吃音の啓発
- からかいなどへの仲裁

合理的配慮

- 方法の変更
- 評価の変更
- 課題の変更



障害者福祉

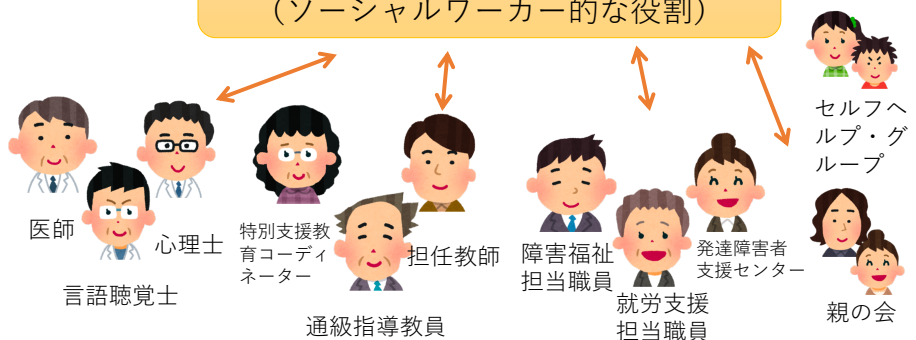
- 手帳の交付
- 就労支援

当事者同士のつどう場

- 中高生のつどい
- セルフヘルプ・グループ



ワンストップの相談場所 (ソーシャルワーカー的な役割)



医療

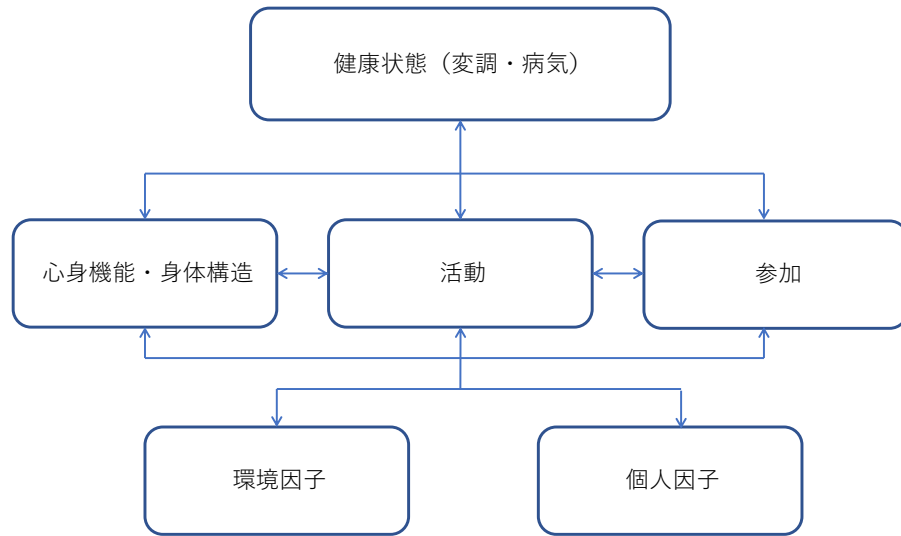
教育

福祉

当事者団体

ICFに基づくアセスメント・プログラムによる指導・支援

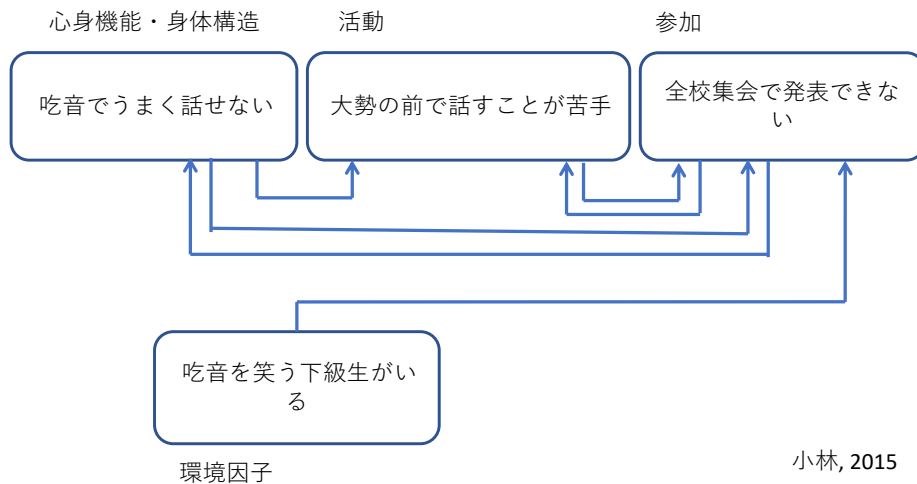
ICFの枠組み



ICFの枠組み

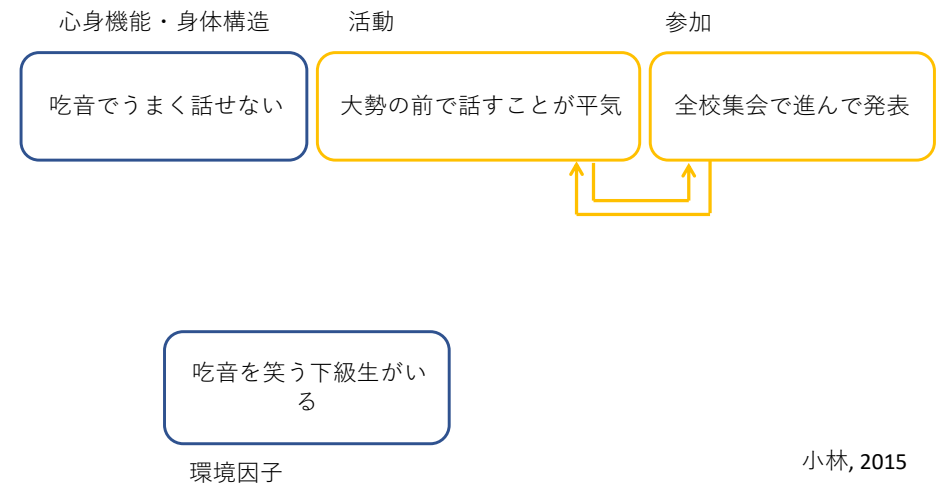
- 相互依存性
 - お互いの要因が関係
- 相対的独立性
 - 全てが他の要因からの影響で決まるわけではない

相互依存性の例



小林, 2015

相対的独立性の例



小林, 2015

A 本人や保護者の吃音の困難や思い、ニーズ

B 活動・参加

C 心身機能

吃音の言語症状
気質・情動の状態
拳固・認知・運動発達



D 環境

E 吃音に関する情動・行動・認知

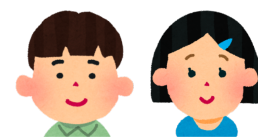
F 全般的特徴



子どもを取り巻く周囲への働きかけ
(環境調整、保護者支援を含む)

① 保護者支援

② 在籍学級担任との連携



吃音のある
子どもの支援



子どもを取り巻く
周囲への働きかけ

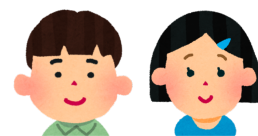
子どもへの支援



ゆっくり
ゆったり
接する

様々な発表や
回答方法を
取り入れる

流暢性だけで
発話の巧拙を
評価しない



子どもへの配慮



必要に応じて
合理的配慮を
検討する

からかいに
断固たる
対応をする

実施方法の変更

- 健康調べの発話の内容や順番を変える
- 丸読みを2人で声を合わせて行う方法に変える

免除

- 日直当番を免除する
- 授業中に発表をあてない



合理的配慮の例

評価規準の変更

- かけ算九九の口唱テストの際に時間制限をなくす
- 音読の際に吃音によるつまりは減点対象としない

- 本人や保護者と相談しながら、決める
- 適切な時期に適切な配慮をすることが大切



子どもへの支援

- 吃音の勉強
- 吃音症状へのアプローチ
- 作戦会議
- 発話・コミュニケーションの指導
- グループ活動

③ 吃音の勉強

吃音は、悪いこと、だめなこと、いけないことではない

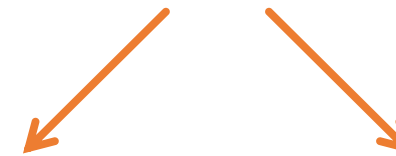
吃音の基礎的知識

吃音が出てくる時の身体のしくみ

吃音への対処法

吃音のある子どもや大人との関わりから学ぶ

④ 言語症状へのアプローチ



吃音の出にくい発話場面で話す体験を積む

吃音の出にくい発話方法を用いて話す経験を積む



発話の工夫

- Super Fluency
 - 弾力的な発話速度
 - 軟起声
 - 構音器官の軽い接触
 - 固有受容感覚
- わざと軽くどもる
 - 語頭音を伸ばす
 - 語頭音をくり返す

⑥ 発話・コミュニケーションの指導



わかりやすく伝えたり、円滑に相互の伝え合いをするのに必要な発話・コミュニケーションの態度や技能の習得を目指す

人前で話すことに挑戦する

⑤ 作戦会議

毎日の生活の困りごとへの具体的な対応策を、子どもと一緒に考える

- 担任の先生にしてもらうこと
- 自分ですること

「出会い系」



学びの場



グループ学習、つどいの類型

(小林試案)



サークル



同窓会



ご清聴、ありがとうございました

ご質問・ご意見は
kobah@kitsuon-portal.jp まで

さらに詳しい情報は
<http://www.kitsuon-portal.jp/>

吃音ポータルサイト|